

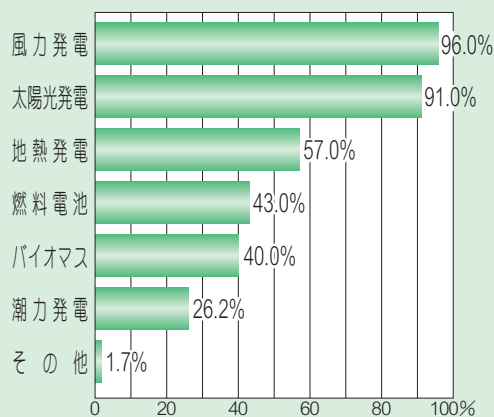
## 代替エネルギーについて

どのような「代替エネルギー」を知っているかの設問において顕著なのは、潮力発電に関しての認知度が低くなっています。市は代替エネルギーの推進をすべきかに関しては「すべき」との回答が多くありました。

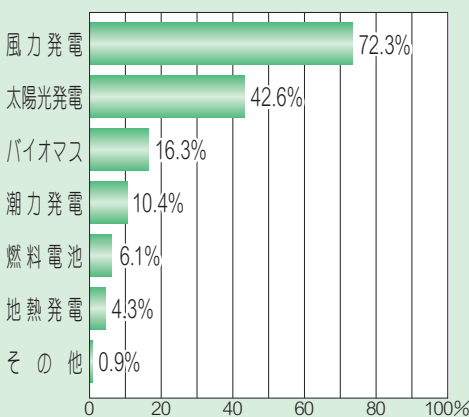
また、「いいえ」よりも「分からない」が多いのが特徴で、代替エネルギーの効能に関する知識が広く理解されていないようです。



【図-8】代替エネルギーの認知度

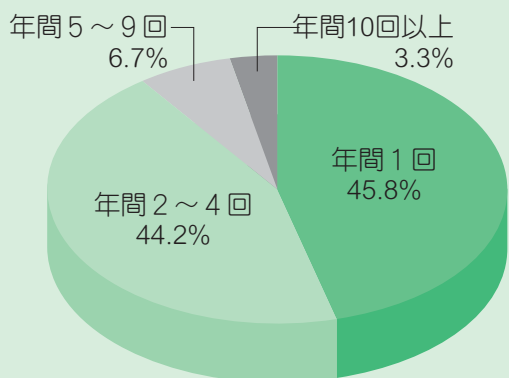


【図-9】代替エネルギー導入の優先度



市はどの代替エネルギーの導入を優先すべきかとの設問においては、「風力発電の推進をすべきだ」との回答が圧倒的に多くなっています。また、認知度が高い風力発電、太陽光発電については、導入優先度も高くなっています。

【図-10】環境に関する活動への参加頻度



## 環境への取り組みについて

環境に関する活動の参加頻度<sup>ひんど</sup>では、居住年数、性別に回答の差がみられませんが、全般的に年一回の参加が多くなっています。

グラフにはありませんが、環境に関する活動に参加したことがあるかについては、一人世帯ほど参加の経験がないことがわかりました。

また、参加した活動形態では、「美化・清掃活動」が圧倒的に多くなっています。

## 国際教養大学 地域環境研究センター からの所見

総合的にみると、市民の循環型社会への理解はあります。しかし、その情報提供の方法や市民に関心を持たせるための活動は乏しくなっています。

理解はあるものの、循環型社会を築いていくというような、市民の行動につながっていないと思います。

また、循環型社会は好ましいが、自身の労力・経済面の消費量を優先してしまいがちなのが現状となっています。

調査の概要は、市のホームページに掲載します。市では、今回のアンケート結果を今後、循環型社会の取り組みの参考にしたいと考えております。

市民の皆様のご意見もお寄せくださるようお願いいたします。

問合せ・連絡先

商工港湾課  
資源リサイクル担当

☎ 89-21188  
ファクス 89-11775